

2020年3月期 連結決算ハイライト (日本基準)

■売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに増収増益。
■9期連続増配へ。

◇売上高	71,961 百万円	6.8 %
◇経常利益	10,999 百万円	8.6 %
◇親会社株主に帰属する当期純利益	7,387 百万円	9.6 %
◇ROE(自己資本当期純利益率)	14.5 %	0.3 pt (%,pt表示は対前期増減率)

損益の状況					主な増減要因	
(単位:百万円)	2020/3期 通期	2019/3期 通期	前年同期比	増減率(%)	2021/3期 通期 業績予想 ※	前期比 増減率(%)
	売上高	71,961	67,396	4,565	6.8	-
売上総利益	20,484	19,092	1,392	7.3	-	-
販売費及び一般管理費	△ 9,550	△ 9,017	△ 533	5.9	-	-
営業利益	10,933	10,074	858	8.5	-	-
営業外収益	69	54	14	27.2	-	-
営業外費用	△ 4	△ 4	0	△ 1.5	-	-
経常利益	10,999	10,125	873	8.6	-	-
特別利益	2	0	1	285.5	-	-
特別損失	△ 11	△ 18	7	△ 37.8	-	-
税金等調整前当期純利益	10,990	10,107	882	8.7	-	-
法人税等	△ 3,602	△ 3,363	△ 239	7.1	-	-
当期純利益	7,387	6,743	643	9.5	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	7,387	6,739	648	9.6	-	-

■売上高
売上高は、719億6千1百万円となり、働き方改革の一環として堅調な仮想デスクトップ（VDI）環境の構築や企業内のデータ量の増大に伴い設備投資が旺盛なストレージ基盤の構築ビジネスに加え、サービス提供型ビジネスの拡充などにも注力したことで、前年同期比45億6千5百万円（前年同期比6.8%増）の増収。

■利益
営業利益は、109億3千3百万円となり、前年同期比8億5千8百万円（前年同期比8.5%増）の増益。
経常利益は、109億9千9百万円となり、前年同期比8億7千3百万円（前年同期比8.6%増）の増益。
親会社株主に帰属する当期純利益は、73億8千7百万円となり、前年同期比6億4千8百万円（前年同期比9.6%増）の増益。

※2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による企業活動への影響が不確定であるため、現時点では未定としております。今後、業績予想の合理的な算定が可能となった時点で開示することといたします。

1株当たり当期純利益(円)	258.33	235.66	22.67	9.6
---------------	--------	--------	-------	-----

セグメント情報				主な増減要因		
(単位:百万円)	売上高			セグメント利益		
	2020/3期 通期	2019/3期 通期	前年同期比	2020/3期 通期	2019/3期 通期	前年同期比
システム事業	52,212	48,890	3,322	7,152	6,200	951
サービス・サポート事業	20,495	19,204	1,291	3,822	3,887	△ 65
計	72,708	68,094	4,614	10,974	10,088	886
その他(含む調整額)	△ 747	△ 698	△ 48	△ 40	△ 13	△ 27
合計	71,961	67,396	4,565	10,933	10,074	858

■システム事業
製造業や流通業向けのサーバー関連事業、高付加価値のストレージ関連事業が堅調に推移したことから、営業利益は71億5千2百万円となり、前年同期比9億5千1百万円（前年同期比15.3%増）の増益。

■サービス・サポート事業
サーバー関連の保守契約売上や、システム構築案件に伴う作業代収入などが増加したものの、技術センター移転による一過性の費用増加などもあり営業利益は38億2千2百万円、前年同期比6千5百万円（前年同期比1.7%減）の減益。

資産・負債及び純資産の状況					主な増減要因	
(単位:百万円)	2020/3期 通期	2019/3期 通期	前期末比	増減率(%)	■資産	
	総資産	71,791	68,170	3,620	5.3	流動資産は、現金及び預金が11億9千9百万円、たな卸資産が5億6千7百万円増加したことなどにより、前期末比23億4千7百万円（前期末比3.7%増）の増加。固定資産は、建物及び構築物が8億2千8百万円増加したことなどにより、前期末比12億7千3百万円（前期末比26.6%増）の増加。
流動資産	65,740	63,392	2,347	3.7	■負債	
固定資産	6,050	4,777	1,273	26.6	流動負債は、支払手形及び買掛金が2億1千4百万円減少したことなどにより、前期末比1億5千3百万円（前期末比0.9%減）の減少。固定負債は、資産除去債務が4億9千万円増加したことなどにより、前期末比2億8千1百万円（前期末比14.1%増）の増加。	
負債	18,876	18,747	128	0.7	■純資産	
流動負債	16,594	16,747	△ 153	△ 0.9	純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益73億8千7百万円の計上による増加と、配当金38億6千万円の支払いによる減少などにより、前期末比34億9千2百万円（前期末比7.1%増）の増加。	
固定負債	2,281	1,999	281	14.1	この結果、自己資本比率は73.6%となり、前期末比1.2ptの改善。	
純資産	52,914	49,422	3,492	7.1		
自己資本(注1)	52,863	49,369	3,494	7.1		
自己資本比率(注2)	73.6%	72.4%	1.2pt改善	-		

(注1)自己資本=純資産の「株主資本合計」+「その他の包括利益累計額合計」 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産

キャッシュ・フローの状況			主な増減要因		配当の状況	
(単位:百万円)	2020/3期 通期	2019/3期 通期	■営業活動によるCF		2020/3期	
	営業活動によるCF	6,538	7,719	たな卸資産の増減額が増加したことにより、資金の獲得額が前年同期比11億8千1百万円の減少。		中間配当
投資活動によるCF	△ 1,472	△ 542	■投資活動によるCF		期末配当	70円
フリーキャッシュ・フロー	5,065	7,177	有形及び無形固定資産の取得による支出などにより、資金の使用額が前年同期比9億3千万円の増加。		年間配当	135円
財務活動によるCF	△ 3,861	△ 3,442			自己資本(百万円)	52,863
現金及び現金同等物の増減額	1,199	3,729			配当性向(%)	52.3
現金及び現金同等物の期末残高	43,010	41,811			2019/3期	49,369



*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。